

事業企画書

団体名	鳥井野獅子踊り保存会			
事業名	指定民俗無形文化財 鳥井野獅子踊り保存活性化事業 ※ <u>新規</u> ・ 継続 （同じ事業での申請____回目）			
事業実施 予定の期間	平成 28 年 7 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日			
事業実施 予定の場所	鳥井野多目的集会所	参加予定 の人数	約360人 (うち構成員数 約50人)	※継続申請の場合 昨年度の参加人数を 記入してください。
				人 (うち構成員数 人)

○今回申請する事業についてお書きください。

<p>この事業を始めることになったきっかけや、事業実施の目的は何ですか。</p> <p>【審査の視点： 必要性】</p>	<p>(きっかけ)</p> <p>当会は昭和61年に旧岩木町より無形民俗文化財の指定を受けて、本年1月8日で30周年を迎えた。これを節目に「鳥井野獅子踊り」の現在的課題を整理し、先人が伝えた獅子踊の存在意義や継承のあるべき姿を町会住民や関心を持つ市民で考える契機としたかった。</p> <p>(目的)</p> <p>江戸時代(1885年「金木屋又三郎日記」によれば旧岩木町賀田のお宮(惣染堂)の祭礼にて、鳥井野の獅子踊りが招かれて踊ったと記録が残る)から継承されて来た初期の様式を保つ鳥井野獅子踊りを記録整理保存するとともに、広く市民の理解を高めながら後継者を育成していく機会を広げ、情報発信を行いたい。町会住民が主体となった持続可能な民俗芸能の実践・継承活動の在り方を確立してゆきたい。</p>
<p>この事業は、どのような人のために、どのような内容・方法で実施しますか。</p> <p>【審査の視点： 公益性、実現性】</p>	<p>(対象となる人)</p> <p>民俗芸能・獅子踊りに関心を持ち、ともに活動を希望する町民・市民。具体的には、地域の児童(保育所や児童センター利用者)・次世代を担う青年(かつて獅子を踊った、もしくはお囃子の経験者で現在は休止している方々)・近隣地域の福祉施設利用者。</p> <p>(内容・方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥井野獅子踊の伝承や地域の中で歩んできた歴史などをまとめた記念誌「鳥井野獅子踊り保存会あゆみとこれから」を作成する(写真、映像も作成し保存する)。このような作業を保存会が中心になり町会住民の協力を得ながら行う。 獅子踊フォーラム&ワークショップの開催。テーマ：「文化財保護制度と獅子踊りについて考える」 <p>「文化財保護制度」とは何か?これまでどのような問題が指摘されてきたか?等を論点に、基調講演を交えながら、「文化財に指定されることの問題点」あるいは「これからのあるべき姿」について、フォーラム&ワークショップ参加者全体が討議し共有しあう。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・保存会広報誌を定期発行し、事業活動の内容を町会住民はじめ弘前市民に広く紹介する機会を確保する。(300部/回) ・インターネットでの情報発信活動の促進。ブログ「鳥井野獅子踊保存会」を活用する。 ・「鳥井野獅子踊の未来を考えるためのフォーラム&ワークショップ」を開催する。(2月)。文化財として「獅子踊の保存」という観点だけではなく、地域の暮らしに根差した民俗芸能の在り方など多面的に模索する。 ・津軽広域の芸能団体との情報交換会開催。(鶴田町ほか) ・地元の保育園や施設等に練習指導に向向く。 ・記念誌は町民、講演会・ワークショップ参加者へ配布するほか、市内の公共施設や小中学校・集会所等に寄贈配置し、誰でもいつでも閲覧できるように配慮する。(8月以降順次)
	<p>※継続申請の場合、記入してください。</p> <p>(新たな内容や改善点など、前回との違い)</p>

(NO. 2)

○実施スケジュールについてお書きください。【審査の視点：実現性】
(準備作業から事業終了後の報告まで、できるだけ具体的にお願いします。)

日程(月日)	実施内容	場所	時間	参加者数等
(7月)				
7月 1日	・記念誌印刷発注	やまと印刷		発注 300部
7月 15日	・社会福祉法人 抱民舎獅子踊り演奏指導※以下毎月第3金曜日開催(障がい者に教え伝統芸能の魅力を広める。)	であいの家あうん	10:30~1h	指導者 1名 受講者 10名
7月 24日	・「指定無形民俗文化財講演会」開催 ・記念誌配布 ・基調講演・ワークショップ(未定)	鳥井野多目的集会所・大和室	PM2:00~	参加予定者 約100名 記念誌配布 約200部
(8月)				
8月 10日	弥生保育園踊りの派遣依頼	弥生保育園		10名
8月 19日	・抱民舎獅子踊り演奏指導 広報「鳥井野獅子踊り」発刊			300部
(9月)				
9月 17日	・抱民舎地域交流行事「感謝祭」にて獅子踊り披露	社福 抱民舎・賀田地区「クレッシェンド」前	11:00~	12名
(10月)				
10月 21日	・抱民舎獅子踊り演奏指導			
(11月)				
11月 18日	・抱民舎獅子踊り演奏指導			

(12月) 12月16日	・抱民舎獅子踊り演奏指導			
12月26日	・泉野なかよし会訪問演奏 (演奏や獅子の装着と踊りの基本等の体験)	泉野集会所		15名 (対象者65名)
	広報「鳥井野獅子踊り」発行			300部
(1月) 1月21日	・抱民舎獅子踊り演奏指導			
(2月)	地区山麓獅子踊り保存会連絡協議会(4団体)によるフォーラム&ワークショップ 開催:テーマ文化財保護制度と獅子踊りの今後について ・基調講演・北文研代表 博士(学術)下田雄次氏 「文化財保護制度について」 ・ワークショップ ・情報交換会(予定)	鳥井野多目的集会所・大和室	AM10:00~ PM 3:00	参加予定者 80人程度
(3月) 3月10日	広報「鳥井野獅子踊り」発行 1%事業実施関連報告書作成提出準備			300部


○申請する事業の実施効果についてお書きください。【審査の視点:公益性】

<p>この事業を実施することによって、市民や地域に対してどのような効果が期待できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動の保存継承としての記念誌「鳥井野獅子踊保存会のあゆみとこれから」の作成を町会住民の協力を得ながら進めてゆくことにより、地元の人々の暮らしの中に今も息づく芸能としての獅子踊りを再認識し、町会の歴史や未来における獅子の存在意義について考えをを広げることが可能になる。またこのような展開をすることにより、町会住民が地元の文化を通じて交流密度を深め、獅子踊りの実践や継承活動の活性化に効果が期待できる。 ・獅子踊りを地区の内外で披露する機会を確保することにより、獅子踊りがより市民の身近な活動として理解されてゆくことが期待できる。 ・町会の住民で幼少期から獅子踊りを経験して現在休止している若者を中心に、活動の復活が期待できる。 ・保存会広報誌の定期発行をとおして、活動の様子や、伝統芸能の理解を広め、地域を問わず市民の皆さんが誰でも参加できる伝統芸能としての、発展が期待できる。
--	---

○来年度以降の事業の展開についてお書きください。【審査の視点：将来性】

来年度以降のこの事業を、どのように継続・展開させていく予定ですか。	(次年度計画) ・あらゆる人々にわかりやすい解説書として「鳥井野獅子踊のパンフレット」の作成と配布を行いたい。 ・弘前城公園「桜祭り」やリンゴ公園祭りでの野外公演はこれまでも喜んでいただいているので今後も、県外客や海外のお客様をもてなす大切な機会として今後も継続し、市民行事を盛り上げてゆきたい。
-----------------------------------	--

○来年度以降の財源についてお書きください。

来年度以降も、補助金申請を要望しますか。	(<input checked="" type="radio"/> 要望する) ・ (<input type="radio"/> 要望しない))  いつまでをお考えですか。平成(30)年まで ※当補助金は単年度申込み補助制度ですので、今年度採択された場合でも来年度の申請が必要です。
----------------------	---

○他の補助制度の活用についてお書きください。

今回申請した事業について、ほかに活用する補助制度はありますか。	(<input checked="" type="radio"/> 無) ・ (<input type="radio"/> 有 (補助制度の名称：))
---------------------------------	--

○保険についてお書きください。

事業を実施する際、保険へ加入する予定ですか。	加入しない ・ (<input checked="" type="radio"/> 加入する) (保険の名称：傷害保険)
------------------------	---

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 2 用紙が不足する項目は、別紙としてください。

収支予算書【審査の視点：費用の妥当性】

(単位：円)

1 収入

区 分	金 額	採択金額	摘 要	昨年度の 交付確定額
市民参加型まちづくり1% システム支援補助金	500,000	500,000		
参加費				
協賛金				
団体会費	131,580		鳥井野獅子踊活動収入	
収入合計	631,580		※支出の合計と同額	

2 支出

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要	昨年度の 交付確定額
講師等謝礼	20,000	20,000	ワークショップ講師料	
交通費				
消耗品費及び原材料費				
食糧費				
燃料費				
印刷製本費	608,580	608,580	記念誌「鳥井野獅子踊保存 会のあゆみとこれから」他	
通信運搬費				
保険料	3,000	3,000	ワークショップ参加者傷害保険料	
使用料及び賃借料				
その他経費				
支出合計	631,580	631,580		

※継続申請の場合は、昨年度の交付確定額を記入してください。

補助金の額の算定根拠	<p>① (補助対象経費) × (補助率0.9) ≙ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て (631580) × (0.9) ≙ (568000)</p> <p>② (支出総額) - (参加費・協賛金等の収入) ≙ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て</p> <p>①・②のいずれか少ない額 (補助金申請額) <u>500,000</u> 円 (原則50万円を限度)</p>
------------	--

3 支出内訳書

項目	品名	数量	単価	金額	採択金額	摘要
講師等謝礼	ワークショップ講師謝礼	1	20,000	20,000	20,000	
交通費						
消耗品費及び 原材料費						
食糧費						
燃料費						
印刷製本費	記念誌	1,965.6	300	589,680	589,680	「獅子舞のあゆみとこれから」 (DVD込み)
	事務印刷費	3,900	1	3,900	3,900	会議資料印刷
	広報誌	3回	5,000	15,000	15,000	1回あたり300部
通信運搬費						
保険料	ワークショップ保険料	3,000	1	3,000	3,000	参加者傷害保険
使用料及び 賃借料						
その他経費						
合計				631,580	631,580	

備考

- 1 太枠内は記入しないでください
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 3 用紙が不足するときは、別紙を添付してください。